

国際学部 教育研究上の目的

国際学部は、グローバル社会における複雑な課題・問題に取り組んでいくために、「人」の行動や「社会」の動きを様々な学問領域から研究・学修し、複言語能力の涵養に努め、国際社会が直面する諸課題を多面的に追究し、解決に取り組むことができる知識・能力を身につけた人材を養成する。また、国際学部が設置する国際学科及び言語文化学科の人材養成の目的は、次のとおりとする。

(1) 国際学科は、英語を中心とした複言語能力を涵養するとともに、国際人間学専攻、国際政治学専攻、国際経済学専攻、Global Liberal Studies 専攻を置き、各専攻の視座から人文学、社会科学等の多面的な学問領域を教授することによって、国際社会が直面する様々な課題・問題に取り組める知識・能力を身に付けさせ、世界で活躍できるグローバル人材を育成する。国際社会における政治・経済の動向やそこで行われるビジネスの内容などに関する高度な理解が求められる中、国際社会の的確な現状理解をベースに、多様な人々と円滑なコミュニケーションができる能力を有し、複雑な諸課題に対応できる高度な専門的知見と技能を有する人材を養成する。

(2) 言語文化学科は、言語・文化の多様性と普遍性の理解を深めることをその学びの中心とし、複言語・複文化学専攻と英米学専攻の二つの研究コースにおいて、中京大学の建学の精神に謳われる「学術を通じた人格陶冶」を実現すること、真のグローバル精神を涵養することを目的とする。特に、言語・文化のスペシャリストになるために必要な高度な専門的知識と教養を身につけること、及びジェネラリストになるために必要な広範で深遠な知識と教養を身につけることを目的とする。多様な文化的価値観が混在する社会のなかで、複数の言語やその背景となる文化的社会的知識を用いて、人々との「共生」を導くことができ、言語や文化という人間活動の根本を探求しながら、現代社会の諸問題を解決する努力を怠らず、社会の様々な要請にも言語文化の知見を活かして挑み続けることができる自律的学習者、並びに言語研究・文学研究・文化研究等の専門家を養成する。